

平成22年度広島県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の概要

平成23年2月4日に平成23年第1回広域連合議会定例会で議決された、平成22年度広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）の概要については、次のとおりです。

1 補正した額

歳入歳出予算に歳入歳出それぞれ1億1,504万8千円を追加し、総額は3,444億4,512万6千円となりました。

2 補正した内容

(1) 歳入

- ・ 調整交付金（長寿・健康増進事業分）を増額（9,154万6千円）
- ・ 平成23年度保険料軽減措置に係る財源として交付される高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金を計上（17億4,325万3千円）
- ・ 保険料上昇抑制財源を給付準備基金へ振り替えたことに伴う財政安定化基金交付金の減額（△16億5,312万7千円）
- ・ 給付準備基金元金の増額に伴う基金利子収入の増額（87万9千円）
- ・ 事務費の減額に伴う一般会計繰入金の減額（▲6,577万7千円）
- ・ 保険料上昇抑制財源の振替え及び長寿・健康増進事業への財源充実に伴う給付準備基金繰入金の増額（16億8,672万2千円）
- ・ 制度の周知広報事業及び相談体制整備事業の財源とするため臨時特例基金繰入金を増額（1,155万2千円）

(2) 歳出

- ・ 事務費に係る執行残見込額の減額（▲5,524万円）
- ・ システム検証用サーバを増設するため備品購入費を計上（101万5千円）

- ・ 長寿・健康増進事業に係る市町補助金を計上（1億2,509万4千円）
- ・ 利子収入が増額したことによる後期高齢者医療給付準備基金積立金の増額（87万9千円）
- ・ 交付された高齢者医療制度円滑運営臨時特例交付金を全額臨時特例基金へ積立（17億4,325万3千円）
- ・ 平成21年度保険料不均一賦課繰出金の超過繰入分を一般会計へ返還するため後期高齢者医療特別会計繰出金を計上（4万7千円）